

# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和2年9月3日  
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

## インターネットトラブルから子どもたちを守るために

インターネットは正しく使うことができれば安全で大変便利なものです。しかし、誤った使い方をすると、生活リズムがくずれたり、事件や犯罪などのトラブルに巻き込まれることも考えられます。また、子どもたちが被害を受けるだけでなく、加害者になってしまうケースも生じています。

### 【インターネットトラブルの事例】

#### スマホの過度な使用による生活や体調への支障

友人とのトークが連日深夜まで続き

遅刻や居眠りをするようになってしまった



寝る時間だけど、あと少しだけ。



朝起きるのがつらくなり、眠たくて授業にも集中できなくなりました。体調や成績にも影響が出ているのですが、友人とのトークはやめられません。

メッセージアプリで友人とのやり取り(トーク)をするのが大好きなAさん。話を終わらせるタイミングがわからず、夜遅くまでスマホを使う毎日でした。

#### ながらスマホが招いた自転車衝突事故

スマホを見ながら走行していたら

歩行者に衝突し大ケガをさせてしまった



スマホを見ながら、片手で自転車を運転していたBくん。横断歩道を歩いていた高齢者に気づかず、そのすぐ勢いで衝突してしまいました。



高齢者は頭を強く打ち、一時意識不明の重体に。意識は戻ったものの、Bくんは重過失傷害の疑いで書類送検されました。

#### 自撮り写真の交換に端を発した脅迫被害

同性のステキな友達だと信じていたのに

写真を送ったら態度が急変、脅迫された



ライブの写真

同じ年なのにカッコイイ

うさんって、メンバーと知り合いなのかなあ〜。うらやましいなあ〜



学校でちょっとイヤなことあって

友達の〇ちゃん最近ムカつく

〇〇高校×年×組Vさん

お母さんには言えないんだけど

うなんて存在しないだよ

Uさんの写真が届き、嫌われたくなくて自分の写真を返信した途端、写真付きで秘密をネットに拡散されなければ標的写真を送れと脅されました。

好きなアーティストの話題で意気投合した同年のUさんと直接やり取りを始めたVさん。やがて、誰にも言えない秘密も打ち明けられる仲になりました。

#### メッセージアプリでの悪口・仲間外れ

うっかり「？」をつけ忘れたために

一方的にグループから外されてしまった



〇〇ちゃんの話ってさー

いつも面白い

クラスの仲良し数人でやっているグループトーク。Cさんは、メッセージの最後に「？」をつけ忘れたまま、スマホを置いてお風呂に入ってしまった。



お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などのメッセージが、誤解を解こうとしても、反応なし。Cさん以外のメンバーは別グループを作り、Cさんを外したのです。

出典：「インターネットトラブル事例集（2020年版）」（総務省総合通信基盤局消費者行政第一課）

### 安全利用のためのルールづくり

子どもたちをネット依存やトラブルから守り、正しい使い方を身につけさせるためには、保護者が子どもの発達段階に応じて携帯電話やスマートホン等、インターネットの利用を適切に管理する必要があります。安全安心にインターネットを使うためにも、家庭でのルールづくりをお願いします。

#### 【ルールづくりのポイント】

- ① 子どもの発達にあったルールであること
- ② 子どもと話し合いながら決めること
- ③ 一度決めたルールも定期的に見直すこと

例えば次のような項目でルールをつくってみましょう

1. 携帯・スマホの使っても良い機能  
例：通話、メール、ブラウザ、カメラ、ゲーム
2. その機能を使うときのルール  
例：メールや無料通話アプリは親が知っている人とだけ  
カメラ機能はGPSをオフにする
3. 使ってよい時、ダメな時  
例：夜9時以降は携帯スマホを使用しない  
夜9時以降は友人に返信せず、次の日に返信する。
4. ネットの使用、アプリの使用  
例：SNSなど、ネット上に名前や住所、電話番号、顔写真などは登校しない  
アプリのダウンロードは保護者の承諾を得る、アプリで課金しない
5. マナーその他の使用上のルール  
例：学校や映画館など利用が禁止されている場所では使用しない。
6. 我が家のオリジナルルール  
例：充電はリビングで行う

## 西堤小学校の図書館改革（学校図書館を充実・活用するモデル校）

今年度、大阪府の事業より図書館教育担当者1名を配置した西堤小学校では、言語能力の育成のため、学校全体で学校図書館の環境整備を行うとともに、本に親しむ活動や学校図書館を活用した各教科等の授業づくりに取り組んでいます。まず図書館教育担当者が注目したところは学校図書館の環境です。

**まずは環境整備から始めてみよう**と春休みなどの期間を利用して先生方に声をかけて書架の整理から始めました。膨大な書物は決して一人では移動できません。**先生方みんなで協力して**計画的に取り組んだ結果、子どもにとって本を見つけやすい、整理された図書館に生まれ変わりました。先生方が整理していく過程で、改めてたくさんの種類の本があることを知ることができ、授業での活用に結びついたようです。



そして学校図書館の機能の一つである、「読書センター」としての機能強化を図りました。子どもたちが見て楽しめる掲示物を貼ったり、休み時間に工作教室を開いたり、西堤小学校の**図書館改革は続きます**。今後は「学習・情報センター」としての機能強化の充実を図るために、図書館の本を用いて調べ学習ができるような課題を設定したり、読書カードにあらすじや感想を書くことができる欄を設けたりするなど、教科指導との連動を意識しながら取組みを進めていきます。

校内での組織的な推進に向けて職員全体で意識している3つの合言葉です。

- 1「とりあえずやってみる」
- 2「みんなでやってみる」
- 3「続けてやってみる」

読書カード

タイトル \_\_\_\_\_ 著者の名前 \_\_\_\_\_

読んだ日 \_\_\_\_\_ 著者 \_\_\_\_\_

あらすじ や 感想 \_\_\_\_\_

読書カード おもしろ度 ☆☆☆☆



※「読書センター」…児童の想像力を培い、学習に対する興味・関心を呼び起こし、豊かな心や人間性、教養、創造力等を育む自由な読書活動の場（新学習指導要領総則より）

### 「専門家派遣指導による中学校・高等学校音楽クラブ活性化推進事業」

## ～未来を奏でる音色を求めて～

東大阪市立中学校・高等学校の音楽クラブの活性化をはかる活動の一環で、専門家を派遣する事業を行っています。内容については、これまでに引き続き関西フィルハーモニー管弦楽団のプロ演奏者の方々が行った訪問指導をし、技術力・演奏力の向上につなげていきます。

今年度は、英田中、花園中、金岡中、上小阪中、長瀬中、布施中、池島学園、くすは縄手南校、日新高等学校の9校に訪問し、熱心に指導を行っていただきました。演奏する楽器パートごとに分かれ、約2時間、初めは緊張した面持ちの子どもたちも、プロの演奏を聞いた途端にその緊張が解け、憧れのまなざしを向けながら、指導してくださっていることを少しでも体現しようと懸命に演奏に取り組んでいました。実際に専門家の演奏を見ること、音を聞くことは子どもたちが自分の目標を考える大きな刺激となります。子どもたちが積極的に参加し、活動できるような取組みを今後も推進していきます。



#### <生徒アンケートより>

- ・悩んでいたことも私の吹き方を見てアドバイスをくださり、できるようになりました。
- ・自分の音が好きではなかったけど「自分の音を好きになること」という言葉が心に残りました。
- ・私の質問に「絶対にその音を吹こうとする必要はないと思う」という言葉で心が軽くなりました。

#### <顧問アンケートより>

- ・プロの音を聴き、指導をいただいた子どもたちの音がどんどん変わっていきました。教えていただいたことを今後の練習にもつなげていきたいです。